

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2019-140077

(P2019-140077A)

(43) 公開日 令和1年8月22日(2019.8.22)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
HO 1 R 13/639 (2006.01)	HO 1 R 13/639	5 E O 2 1
HO 1 R 13/52 (2006.01)	HO 1 R 13/52	5 E O 8 7

審査請求 有 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2018-49754 (P2018-49754) (22) 出願日 平成30年3月16日 (2018.3.16) (11) 特許番号 特許第6436376号 (P6436376) (45) 特許公報発行日 平成30年12月12日 (2018.12.12) (31) 優先権主張番号 201810115313.X (32) 優先日 平成30年2月6日 (2018.2.6) (33) 優先権主張国・地域又は機関 中国 (CN)	(71) 出願人 518385785 広州市漫教雲境文化传播有限公司 中華人民共和国広東省広州市黄埔区蘿崗街 道塘山西路山道街1号 (74) 代理人 717007675 許 麗穎 (72) 発明者 黄樂波 中華人民共和国広東省広州市黄埔区蘿崗街 道塘山西路山道街1号 Fターム(参考) 5E021 FA02 FA14 FA16 FC36 HC11 HC31 5E087 EE06 FF04 LL04 LL17 RR13
---	--

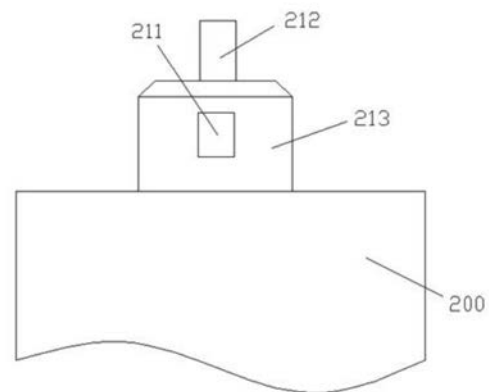
(54) 【発明の名称】 知能ロボット

(57) 【要約】

【課題】 本発明は知能ロボットを開示した。

【解決手段】 本発明の知能ロボットは、装固筐体と前記装固筐体とソケットし合わせて接続する知能探知器を含み、前記装固筐体の前側端面に第一滑り筐体が設置され、前記第一滑り筐体の左右内壁に摩擦防止クッションが貼って設置され、前記第一滑り筐体の中に滑り台がスライドに合わせて取り付けられる。

【選択図】 図4



【特許請求の範囲】

【請求項1】

知能ロボットであって、装固筐体と前記装固筐体とソケットし合わせて接続する知能探知器を含み、前記装固筐体の前側端面に第一滑り筐体が設置され、前記第一滑り筐体の左右内壁に摩擦防止クッションが貼って設置され、前記第一滑り筐体の中に滑り台がスライドに合わせて取り付けられ、前記滑り台の前側端面に安置溝が設置され、安置溝の後側内壁に前記滑り台の後側端面を通り抜ける第一通溝が設置され、前記安置溝の左右両側の内壁に前記滑り台の左右両側の端面を通り抜ける第二通溝が設置され、前記第一通溝の左右両側の前記滑り台の後側端面に第一押しバネが固定的に取り付けられ、前記第一押しバネの後側端面は前記第一滑り筐体の後側壁と固定的に接続し、前記第一滑り筐体の後側内壁に前記第一通溝と対応する信号伝送溝が設置され、前記信号伝送溝の左右両側内壁に鏡映対称に第二滑り溝が設置され、前記第二滑り溝に仕切り板がスライドに合わせて取り付けられ、前記第二滑り溝の後側内壁に案内溝が設置され、前記案内溝に案内ブロックがスライドに合わせて取り付けられ、前記案内ブロックの外側端面の前記案内溝に第一押しバネが押し合わせて取り付けられ、前記第二滑り溝の外側内壁に後に拡張し設置される限定溝があり、前記限定溝に場所取りブロックがスライドに合わせて取り付けられ、前記場所取りブロックの前側端面にからまる輪が回して合わせて取り付けられ、前記分離板の右側端面に引きひもが固定的に取り付けられ、前記引きひもが前記からまる輪を迂回し前記場所取りブロックの前側端面と固定的に接続し、前記滑り台の後側端面に前記限定溝と相対に設置されるプッシュロッドが固定的に取り付けられ、前記第一滑り筐体の左右両側壁に鏡映対称にロック装置が設置され、前記知能探査機の後側端面に前記安置溝とソケットに合わせて接続するプラグが固定的に取り付けられ、前記プラグの左右両側に鏡映対称に前記第二通溝に対応してロック穴が設置され、前記プラグの後側端面に信号伝送端が固定的に取り付けられ、前記信号伝送端は前記第一通溝と対応して設置され、前記ロック装置は左右に鏡映対称に前記第一滑り筐体の左右両側内壁に後に拡張し設置される第三滑り筐体があり、前記第三滑り筐体にスケートボードがスライドに合わせて取り付けられ、前記スケートボードの内側端面の前側位置に前記第二通溝と対応して設置されるロックブロックが設置され、前記第一滑り筐体の後側の前記スケートボードにねじ軸がねじで合わせて取り付けられ、前記ねじ軸の外側拡張末端は前記第三滑り筐体の外側内壁と回転可能に合わせて接続し、前記ねじ軸の内側拡張段は前記装固筐体の内壁体の隙間と合わせて接続し末端に電気ローラーが動力が伝達可能なように合わせて取り付けられ、前記電気ローラーは前記装固筐体の内壁体に固定的に取り付けられ、前記滑り台の後側端面に調整器が固定的に取り付けられ、前記第一滑り筐体の後側内壁に前記調整器と対応して設置されるフルートが設置され、前記フルートは前記電気ローラーと電氣的に接続し、前記プラグの後側端面の周囲に斜角面が設けられ、前記電気ローラーの左右両側の前記ねじ軸がねじで逆方向に設置されることを特徴とする知能ロボット。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、ロボット設備の分野に関し、具体的には知能ロボットに関する。

【背景技術】

【0002】

現在、自動探査ロボットの取り付けの手順や操作の段取りが複雑で、解体とメンテナンスは不便である。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献1】中国特許出願公開第106476019号明細書

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

本発明は解決すべき技術問題に対して知能ロボットを提供し、それは上記の現在の技術の問題を解決できる。

【0005】

本発明は以下の技術方案を通じて実現する。本発明の知能ロボットは、装固筐体と前記装固筐体とソケットし合わせて接続する知能探知器を含み、前記装固筐体の前側端面に第一滑り筐体が設置され、前記第一滑り筐体の左右内壁に摩擦防止クッションが貼って設置され、前記第一滑り筐体の中に滑り台がスライドに合わせて取り付けられ、前記滑り台の前側端面に安置溝が設置され、安置溝の後側内壁に前記滑り台の後側端面を通り抜ける第一通溝が設置され、前記安置溝の左右両側内壁に前記滑り台の左右両側端面を通り抜ける第二通溝が設置され、前記第一通溝の左右両側の前記滑り台の後側端面に第一押しバネが固定的に取り付けられ、前記第一押しバネの後側端面は前記第一滑り筐体の後側壁と固定的に接続し、前記第一滑り筐体の後側内壁に前記第一通溝と対応する信号伝送溝が設置され、前記信号伝送溝の左右両側内壁に鏡映対称に第二滑り溝が設置され、前記第二滑り溝に仕切り板がスライドに合わせて取り付けられ、前記第二滑り溝の後側内壁に案内溝が設置され、前記案内溝に案内ブロックがスライドに合わせて取り付けられ、前記案内ブロックの外側端面の前記案内溝に第一押しバネが押し合わせて取り付けられ、前記第二滑り溝の外側内壁に後に拡張し設置される限定溝があり、前記限定溝に場所取りブロックがスライドに合わせて取り付けられ、前記場所取りブロックの前側端面にからまる輪が回して合わせて取り付けられ、前記分離板の右側端面に引きひもが固定的に取り付けられ、前記引きひもが前記からまる輪を迂回し前記場所取りブロックの前側端面と固定的に接続し、前記滑り台の後側端面に前記限定溝と相対に設置されるプッシュロッドが固定的に取り付けられ、前記第一滑り筐体の左右両側壁に鏡映対称にロック装置が設置され、前記知能探知器の後側端面に前記安置溝とソケットに合わせて接続するプラグが固定的に取り付けられ、前記プラグの左右両側に鏡映対称に前記第二通溝と相対に設置されるロック穴が設置され、前記プラグの後側端面に信号伝送端が固定的に取り付けられ、前記信号伝送端は前記第一通溝と相対に設置される。

【0006】

好ましい技術方案として前記ロック装置は左右に鏡映対称に前記第一滑り筐体の左右両側内壁に設置されて後に拡張し設置される第三滑り筐体が設置され、前記第三滑り筐体にスケートボードがスライドに合わせて取り付けられ、前記スケートボードの内側端面の前側位置に前記第二通溝と相対に設置されるロックブロックが設置され、前記第一滑り筐体の後側の前記スケートボードにねじ軸がねじで合わせて取り付けられ、前記ねじ軸の外側拡張末端は前記第三滑り筐体の外側内壁と回して合わせて接続し、前記ねじ軸の内側拡張段は前記装固筐体の内壁体の隙間と合わせて接続し末端に電気ローラーが動力が伝達可能なように合わせて取り付けられ、前記電気ローラーは前記装固筐体の内壁体に固定的に取り付けられる。

【0007】

好ましい技術方案として前記滑り台の後側端面に調整器が固定的に取り付けられ、前記第一滑り筐体の後側内壁に前記調整器と相対に設置されるフルートが設置され、前記フルートは前記電気ローラーと電氣的に接続する。

【0008】

好ましい技術方案として前記プラグの後側端面の周囲に斜角面が設置される。

好ましい技術方案として前記電気ローラーの左右両側の前記ねじ軸がねじで逆方向に設置される。

【発明の効果】

【0009】

本発明は、構造が簡単で、操作が便利で、知能探知器をしっかりと装固筐体にロックし、不慮の接触でデータ受信或いは輸送をブレーキすることを防止し、有効的に知能探知器の使用安全性と安定性を増やして、そして自動ロックを通じて、使用する便利性を大きく増

10

20

30

40

50

加し、知能探知器を引き抜く時、信号伝送筐体が自動に閉鎖され、有効的にほこり或いは水が信号伝送筐体に入ることを防ぐ。

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図1】図1は本発明の装固筐体の内部の全体構造概略図である。

【図2】図2は本発明の知能探知器の内部の全体構造概略図である。

【図3】図3は図1の中のA所の拡大構造概略図である。

【図4】図4は図2の中のの左視構造概略図である。

【発明を実施するための形態】

【0011】

図1－図4のように、本発明に係る知能ロボットは、装固筐体100と前記装固筐体100とソケットし合わせて接続する知能探知器200を含み、前記装固筐体100の前側端面に第一滑り筐体122が設置され、前記第一滑り筐体122の左右内壁に摩擦防止クッション119が貼って設置され、前記第一滑り筐体122の中に滑り台118がスライドに合わせて取り付けられ、前記滑り台118の前側端面に安置溝116が設置され、安置溝116の後側内壁に前記滑り台118の後側端面を通り抜ける第一通溝117が設置され、前記安置溝116の左右両側内壁に前記滑り台118の左右両側端面を通り抜ける第二通溝115が設置され、前記第一通溝117の左右両側の前記滑り台118の後側端面に第一押しバネ147が固定的に取り付けられ、前記第一押しバネ147の後側端面は前記第一滑り筐体122の後側壁と固定的に接続し、前記第一滑り筐体122の後側内壁に前記第一通溝117と対応する信号伝送溝132が設置され、前記信号伝送溝132の左右両側内壁に鏡映対称に第二滑り溝145が設置され、前記第二滑り溝145に仕切り板131がスライドに合わせて取り付けられ、前記第二滑り溝145の後側内壁に案内溝134が設置され、前記案内溝134に案内ブロック133がスライドに合わせて取り付けられ、前記案内ブロック133の外側端面の前記案内溝134に第一押しバネ135が押し合わせて取り付けられ、前記第二滑り溝145の外側内壁に後に拡張し設置される限定溝141があり、前記限定溝141に場所取りブロック142がスライドに合わせて取り付けられ、前記場所取りブロック142の前側端面にからまる輪143が回して合わせて取り付けられ、前記分離板131の右側端面に引きひも144が固定的に取り付けられ、前記引きひも144が前記からまる輪143を迂回し前記場所取りブロック142の前側端面と固定的に接続し、前記滑り台118の後側端面に前記限定溝141と相対に設置されるプッシュロッド146が固定的に取り付けられ、前記第一滑り筐体122の左右両側壁に鏡映対称にロック装置が設置され、前記知能探査機200の後側端面に前記安置溝116とソケットに合わせて接続するプラグ213が固定的に取り付けられ、前記プラグ213の左右両側に鏡映対称に前記第二通溝115と相対に設置されるロック穴211が設置され、前記プラグ213の後側端面に信号伝送端212が固定的に取り付けられ、前記信号伝送端212は前記第一通溝117と相対に設置される。

【0012】

有益なことは前記ロック装置は左右に鏡映対称に前記第一滑り筐体122の左右両側内壁に設置されて後に拡張し設置される第三滑り筐体113が設置され、前記第三滑り筐体113にスケートボード112がスライドに合わせて取り付けられ、前記スケートボード112の内側端面の前側位置に前記第二通溝115と相対に設置されるロックブロック114が設置され、前記第一滑り筐体122の後側の前記スケートボード112にねじ軸111がねじで合わせて取り付けられ、前記ねじ軸111の外側拡張末端は前記第三滑り筐体113の外側内壁と回して合わせて接続し、前記のねじ軸111の内側拡張段は前記装固筐体100の内壁体の隙間と合わせて接続し末端に電気ローラー124が動力が伝達可能なように合わせて取り付けられ、前記電気ローラー124は前記装固筐体100の内壁体に固定的に取り付けられ、自動的に前記知能探知器200をロックする。

【0013】

有益なことは前記滑り台118の後側端面に調整器121が固定的に取り付けられ、前記

10

20

30

40

50

第一滑り筐体 1 2 2 の後側内壁に前記調整器 1 2 1 と相対に設置されるフルート 1 2 3 が設置され、前記フルート 1 2 3 は前記電気ローラー 1 2 4 と電氣的に接続し、これにより前記調整器 1 2 1 が前記フルート 1 2 3 に入った後自動的に前記電気ローラー 1 2 4 を起動することを制御する。

【0014】

有益なことは前記プラグ 2 1 3 の後側端面の周囲に斜角面 2 1 4 が設置され、これによりプラグ 2 1 3 が前記安置溝 1 1 6 に挿し込むことが便利である。

【0015】

有益なことは前記電気ローラー 1 2 4 の左右両側の前記ねじ軸 1 1 1 がねじで逆方向に設置され、これにより前記スケートボード 1 1 2 を制御し同時に内また外にスライドする。

10

【0016】

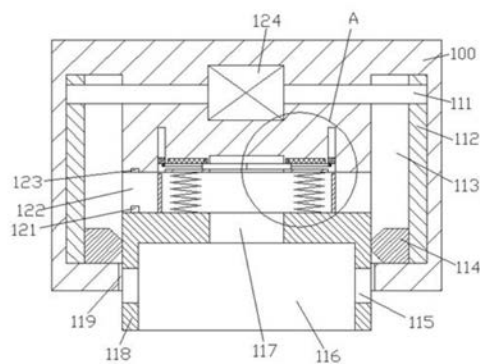
本発明の有益な効果は、構造が簡単で、操作が便利で、知能探知器をしっかりと装固筐体にロックし、不慮の接触でデータ受信或いは輸送をブレーキすることを防止し、有効的に知能探知器の使用安全性と安定性を増やして、そして自動ロックを通じて、使用する便利性を大きく増加し、知能探知器を引き抜く時、信号伝送筐体が自動に閉鎖され、有効的にほこり或いは水が信号伝送筐体に入ることを防ぐ。

【0017】

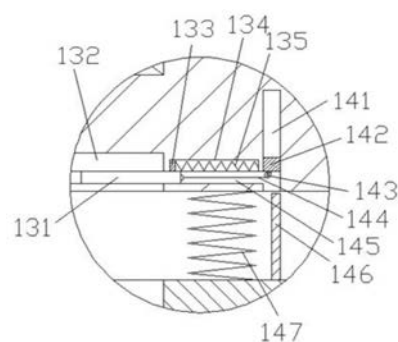
以上に述べたのは本発明の具体的な実施方式で、本発明の保護範囲はここに限らない。全部の創造的な労働を通じずに、思いついた変化と取替は本発明の保護範囲にカバーされる。だから本発明の保護範囲は特許請求の範囲が規定する保護範囲を基準とする。

20

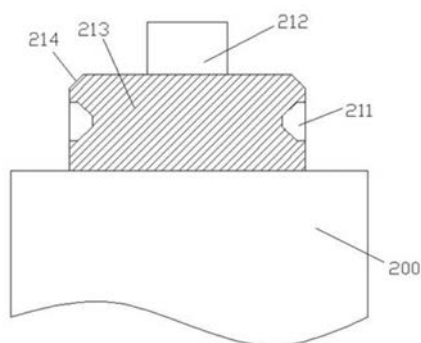
【図 1】



【図 3】



【図 2】



【図 4】

